

北海道ニセコ高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)農業クラブ3大事業への積極的な取組を促す。 (2)個に応じたキャリア教育の充実を図る。 (3)資格取得の充実	(1)各行事に向け学習会の充実を図った。 (2)2年生は農業実習と観光実習、3年生は進路希望に合わせた実習を実施した。 (3)農業技術検定3級、食品衛生責任者資格取得を実施した。	・取り組みの継続	5
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)ニセコ町が取り組むSDGs 未来都市としての活動を学ぶ。 (2)グローバル人材育成教育の充実	(1)各教科の取り組みのなかでSDGsについて学んだ。 (2)年4回のグローバル人材育成講座を実施した。	・取り組みの継続	5
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地場産業を支える取り組み (2)地域に定着させる新しい農産物の開拓	(1)地元でのインターンシップを実施した。 (2)有機栽培に取り組み、転換期間中有機農産物の認証を得た。地域に提供する京野菜の栽培研究を実施した。	・取り組みの継続	5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)有機栽培農家、有機ワインブドウ農家での視察実習と農業実習 (2)地元6次産業との連携	(1)年2～4回の実習と視察を行いニセコにおける有機果樹栽培を学んだ。 (2)観光客のニーズに応える農産物を提供した。	・取り組みの継続	4
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)小樽開発局と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2)エネルギー教育の充実	(1)現地学習をとおし環境に配慮した農地開発を学んだ。 (2)SDGs 学習をとおし持続可能なエネルギーについて学んだ。	・取り組みの継続	4
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2)国際交流員との食文化交流	(1)中学校との年3回の交流活動、幼児センターとの菜園交流を実施した。 (2)食文化交流は自粛。	・取り組みの継続	4
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)町花を活用したPJ活動の実施で地域との繋がりを深める。 (2)有島武郎と地域の農業の歴史について学ぶ。さらに地域に根付く「相互扶助」の精神について学ぶ。	(1)町花ラベンダーを活用し充実したPJ活動を実践した。 (2)「相互扶助」の精神を学んだ。	・取り組みの継続	5
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)⑥「食農」教育を中心に地域交流の場をつくる。	(1)⑥食文化交流は自粛。 (2)「二高マルシェ」を実施した。	・取り組みの継続	3
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)町役場、小樽開発局、ニセコミルク工房、地域農家、酪農学園大学、札幌国際大学、八紘学園などと連携した授業の実施 (2)管内中学校を対象に農業クラブ活動の紹介を行う。 (3)町内企業と連携し新たな地域資源の創出を目指す。	(1)農地開発現地視察、農家視察、専門学校視察を実施した。 (2)農業クラブ意見発表大会、実績発表大会のリモート配信を実施した。 (3)地域企業と連携し京野菜を地元飲食店で提供した。ラベンダークラフトジンの商品化ができた。	・取り組みの継続	5
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)実習に関わる安全教育の徹底 (2)実習中の災害への備え	(1)実習服・帽子・長靴・軍手の着用を徹底した。 (2)危機管理マニュアルの見直しを行った。	・農場実習中の地震、原発事故への備えを徹底する。	4